

書くこと・話すことで集団を鍛える

サークルはやし 宮本哲

う一度、自分の意見や考えを書く。

〔例〕

「大造じいさんと残雪のどちらが中心人物ですか。」

〔個人〕

・大造じいさんか残雪のどちらかを書く。

そしてその理由も書く。

〔集団〕

・班の人と書いたものを交流する。

友だちとノートを交換する。

このように個人と集団を繰り返し、鍛えていくことで、個人、集団の力が伸びていく。

【書くことで集団を鍛える】

まず、いろんな場面で書く作業を入れる。

そして書き慣れる。

①授業に書く。

自分の意見や考え、友だちの意見や考え、疑問、まとめなどを書く↓班、学級で交流したものを書く↓交流したものを踏まえも

〔個人〕

・全員で話し合ったことを踏まえ、最終的な自分の考えを書く。

②日記、成長ノートに書く。

今年が五年生の担任であるが、日記は、毎週金曜日の宿題として出している。

〔個人〕

休みの日に家で日記を書く。(私のクラスでは、その日にあったことだけでなく、今までにあった事、これからありそうな事、もしもシリーズなどいろんなことを書いていいことになっている。また、書き方も説明的、実況中継風、物語風など書き方も工夫していい事になっている。)

〔集団〕

朝の会や終わりの会、授業が少し早く終わったときなどの時間を使って、毎日二、三人の日記を紹介する。友だちの日記を聞き、工夫や面白かったこと、疑問、感想などを数人に聞く。

〔個人〕

友だちの書き方の工夫や言葉の使い方などを取り入れて日記を書く。

〔集団〕

また隙間の時間に紹介する。その時、前回紹介した書き方の工夫を取り入れている子の日記を紹介する。そして友だちの良いところを自分の力にしようとしていることを誉める。(友だちの良いところをまねする心を強化していく。)この繰り返しをしていると、宿題でもないのに自主的に日記を書いてくる子が表れる。当然その子の行動を誉める。

成長ノートは、その日の授業終了後、約一〇分間「成長タイム」として書いている。

個人

その日、あった出来事で考えたこと、思ったこと、自分が成長したと感じたこと友だちのいいところなどをしっかりと振り返り書く。その時、分らない漢字や言葉などがあると、辞書を使って調べている子を誉める。

集団

成長ノートに書いた文章は、次の日の学級通信に掲載しみんなの前で読む。その時、内容も大切であるが、題名の付け方や四文字熟語、諺などを使っている子を誉める。

個人

友だちの書き方の良いところを使いながら書く。

※今年の子どもたちは、給食のおいしさを紹介するグルメリポーターや優しい〇〇、かつこいい〇〇などのシリーズものが流行した。

【話すことで集団を鍛える】

子どもたちは学校に来ていろんなことを話す。休み時間、昨日、見たテレビ番組の事、ゲームの攻略の仕方、好きな芸能人など、このようなことを話すのもコミュニケーションを築いていくことで大切である。しかし、授業の中では、子どもたちが苦手としている論理的に話すことを鍛えていかなければならない。

〈例〉

「平行四辺形の面積の求め方を今までに習ったことを活用して説明しましょう。」

個人

この発問で子どもたちは、平行四辺形に線を書きこんだり、はさみで切って移動させたりして長方形や正方形にして面積の求め方を考える。それが分かるようにノート

に書き込む。

しかしそれを発表させると、うまく説明できないことがあるのではないだろうか。

このようなことの解決策として二通りの方法を試してみた。

集団1

全員が一つ以上の方法をノート書いたら、隣の友だちに説明する。説明が終わった後、説明が分かったかどうか確認する。その後、全員の前で説明する。

集団2

全員が一つ以上の方法を書く。次に全員の前で1人だけ説明する。(この時、説明が上手な子)その説明が分かったかどうか確認した後、同じような説明を隣の人と説明し合う。そして、今の説明をもう一人にさせる。(説明の苦手な子)

個人

友だちの説明を書いたり、自分の考えに付け加える。

今回は、「集団2」の方法を何度か使った。すると、発表が苦手だった子も上手の子の発表をまねているので自信をもって説明していた。